

学校法人愛自学園 2025 年度 事業報告書

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

1. 法人の概要

1) 教育方針

1. 幅広い自動車技術とプロを目指すための実践力を習得させる
2. お客さまに感謝されることを喜びとするマインドとコミュニケーション力を育成する
3. 社会人として愛され信頼される豊かな人間性とたゆまぬ向上心を育む
4. それらを「クルマの持つ魅力・可能性・人との係わり」の学びを通して実現する

2) 設置する学校・学科 (2025 年 3 月 31 日 現在)

(1) 設置する学校

専門学校 日産愛媛自動車大学校

(2) 設置する学科と修業年限・定員

学科名	修業年数	2025 年度 入学定員	2 年次	3 年次	4 年次	総定員
一級自動車工学科	4 年	25 名	30 名	30 名	30 名	110 名
自動車整備科	2 年	50 名	35 名	-	-	85 名
国際自動車整備科	3 年	15 名	20 名	20 名	-	55 名

3) 役員、教職員の概要 (2025 年 5 月 28 日 現在)

(1) 役員

役職	人数
理事長	1 人
理事	5 人
監事	2 人
評議員	13 人

(2) 教職員(嘱託、パート含む)

教員	職員	合計
12 人	12 人	24 人

2.事業の概要

1)2025 年度の方針

2024 年から 2026 年までの 3 か年中期計画において、永続的な学校運営を行うため下記の 3 つの柱を基本として継続して取り組んだ。

- ①学生数の安定的確保
- ②日産校としての質の高い教育の確立
- ③魅力を保つための継続的な取り組み（学習環境、職場環境、人材育成）

2)学生募集

(1)主な取り組み

- ✓ 就職先である日産販売会社との連携を密にし、販売会社奨学金制度を活用した採用活動を積極的に行い、日本人入学生を目標通り確保
- ✓ 整備士のグローバル人材育成を強化すべく、販売会社奨学金制度を活用したミャンマー国からの直接留学制度を積極的に活用することで優秀な外国人材を確保するとともに応募数も目標通り確保
- ✓ 日産直営校として最先端の技術を網羅した教育内容や充実した設備を訴求した募集活動の推進
- ✓ 学生がレースに参画する「日産メカニックチャレンジ」や八丈島で島民のみなさまのおクルマを無料点検する社会貢献活動など、日産校でしか体験できない活動を PR

(2)新入生と在籍者数（2026 年 4 月時点）

学科名	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合計	総数
一級自動車工学科	25 名	23 名	16 名	17 名	81 名	232 名 (86 名)
自動車整備科	50 名 (21 名)	49 名 (13 名)	-	-	99 名 (34 名)	
国際自動車整備科	17 名 (17 名)	16 名 (16 名)	19 名 (19 名)	-	52 名 (52 名)	

- ・定員充足率：94.7%(232 名/245 名)
- ・留学生比率：37.1%(86 名/232 名)
- ・女子比率：9.5%(22 名/232 名)

3)就職

(1)主な取り組み

- ✓ 日産の販売会社はもとより、日産自動車や関連企業をはじめ幅広く求人確保
- ✓ 就職活動においては、教員を始め専任の職員による個々に応じた就職支援
- ✓ 日産グループの強みを最大限に活かした、就職希望者全員斡旋実績

(2)2026 年 4 月就職者数実績

日産販売会社へは 67%、日産関連会社は 6% 合計では約 73.5%が日産グループへ就職している。就職希望者全員が就職することができた。

日産販売会社	33 名
日産関連企業	3 名
他メーカー 販 社	12 名
その他	1 名

4)教育

(1)主な取り組み

- ✓ ADAS(先進運転支援システム)授業と先進技術整備授業について、日産自動車の関連部署による特別授業を実施
- ✓日産メカニックチャレンジによる S-GT/S 耐へのレース活動参加、マッチのマーチの車両レストア、八丈島への無料安心点検イベントの実施など課外活動の充実
- ✓ 増えゆく留学生に対応すべく、授業の効果的な進め方の検討、理解度確認、姉妹校で活動している内容の共有、国家試験に向けての共通教材での取り組みの充実
- ✓ 学生の育成度合いを可視化し実習授業を中心とした自主性を育む活動や ICT 活用による理解度向上推進

(2)2026 年 3 月国家試験合格状況

姉妹校との情報交換や共通教材の活用により、全ての科目で合格率 100%の結果。
増えゆく留学生構成比の中、好成績を維持。

一級小型				二級			
筆記試験		口述試験 (5 月実施)		ジーゼル		ガソリン	
21 名	100%	21 名	100%	47 名	100%	47 名	100%

5)主な設備投資・大規模修繕等

教育活動の安全確保と学生の生活環境向上を目的に、設備投資・修繕を実施。
今後も教育の質を維持し、学生が安心して学業に専念できる環境を維持する。

場所	工事名	目的	詳細
第 1 実習場	実習リフト点検整備	安全確保	点検補修
第 2 実習場	空調更新工事	環境改善・安全確保	エアコンの更新
	空調更新付帯工事	環境改善	耐熱フィルム施工
	照明更新工事	環境改善・安全確保	LED 化
	実習場周辺照明設置工事	環境改善・安全確保	LED 化
第 5 実習場	空調設置工事	環境改善・安全確保	エアコン設置
学生寮	空調設置工事	環境改善・安全確保	エアコンの更新
	2 階居室環境改善工事	環境改善・安全確保	居室リフォーム
本棟	1 階女子トイレ改修工事	環境改善・人員適応	リフォーム、増設

3.財務の概要

1)事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

(単位：円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	219,736,261	220,130,261	△ 394,000
		手数料	3,779,133	4,235,000	△ 455,867
		寄付金	19,377,550	909,000	18,468,550
		経常費等補助金	27,302,330	26,740,400	561,930
		付随事業収入	51,041,329	51,223,649	△ 182,320
		雑収入	4,633,656	6,041,320	△ 1,407,664
		教育活動収入計	325,870,259	309,279,630	16,590,629
	支事出業の活動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	112,088,022	114,729,606	△ 2,641,584
		教育研究経費	100,615,956	94,818,083	5,797,873
		管理経費	87,510,339	100,292,113	△ 12,781,774
		徴収不能額等	0	196,600	△ 196,600
教育活動支出計		300,214,317	310,036,402	△ 9,822,085	
教育活動収支差額		25,655,942	△ 756,772	26,412,714	
教育活動外収支	収事業の活動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	241,779	814,308	△ 572,529
		教育活動外収入計	241,779	814,308	△ 572,529
	教育活動外収支差額		241,779	814,308	△ 572,529
経常収支差額		25,897,721	57,536	25,840,185	
特別収支	収事業の活動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		その他の特別収入	0	18,435,230	△ 18,435,230
		特別収入計	0	18,435,230	△ 18,435,230
	支事出業の活動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		その他の特別支出	0	11,300,194	△ 11,300,194
		特別支出計	0	11,300,194	△ 11,300,194
	特別収支差額		0	7,135,036	△ 7,135,036
予備費		0		0	
基本金組入前当年度収支差額		25,897,721	7,192,572	18,705,149	
基本金組入額合計		△ 40,000,000	△ 29,909,117	△ 10,090,883	
当年度収支差額		△ 14,102,279	△ 22,716,545	8,614,266	
前年度繰越収支差額		148,534,258	148,534,258	0	
翌年度繰越収支差額		134,431,979	125,817,713	8,614,266	
(参考)					
事業活動収入計		326,112,038	328,529,168	△ 2,417,130	
事業活動支出計		300,214,317	321,336,596	△ 21,122,279	

2)資金収支計算書

資金収支計算書

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算	決算	差異 予算－決算
〈収入の部〉			
学生生徒等納付金収入	219,736,261	220,130,261	△ 394,000
手数料収入	3,779,133	4,235,000	△ 455,867
寄付金収入	19,377,550	19,339,550	38,000
補助金収入	27,302,330	26,740,400	561,930
付随事業・収益事業収入	51,041,329	51,223,649	△ 182,320
受取利息・配当金収入	200,000	814,308	△ 614,308
雑収入	4,633,656	6,046,000	△ 1,412,344
前受金収入	52,013,409	41,241,871	10,771,538
その他の収入	2,466,919	2,401,319	65,600
資金収入調整勘定	△ 54,013,409	△ 60,997,126	6,983,717
前年度繰越支払資金	352,830,200	380,875,710	
収入の部合計	679,367,378	692,050,942	△ 12,683,564
〈支出の部〉			0
人件費支出	111,725,958	114,042,056	△ 2,316,098
教育研究費支出	89,464,682	86,913,822	2,550,860
管理経費支出	67,974,825	74,792,704	△ 6,817,879
施設関係支出	9,000,000	9,033,051	△ 33,051
設備関係支出	16,800,000	19,600,176	△ 2,800,176
その他の支出	△ 3,526,520	22,507,941	△ 26,034,461
資金支出調整勘定	△ 22,300,000	△ 22,102,909	△ 197,091
翌年度繰越支払資金	410,228,433	387,264,101	22,964,332
支出の部合計	679,367,378	692,050,942	△ 12,683,564

3)貸借対照表

貸借対照表

2026年3月31日

(単位：円)

資産の部	
科 目	本年度末
固定資産	375,812,128
有形固定資産	375,311,883
その他の固定資産	500,245
流動資産	399,281,753
資産の部合計	775,093,881

(単位：円)

負債の部	
科 目	本年度末
固定負債	8,098,760
流動負債	100,761,001
負債の部合計	108,859,761
純資産の部	
科 目	本年度末
基本金	540,416,407
第1号基本金	522,416,407
第4号基本金	18,000,000
繰越収支差額	125,817,713
純資産の部合計	666,234,120
科 目	本年度末
負債及び純資産の部合計	775,093,881

4)財産目録

2025年度
財産目録
(2026年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
基本財産	375,311,883
運用財産	399,781,998
資 産 総 額	775,093,881
負 債 総 額	108,859,761
正 味 財 産	666,234,120

資 産	基本財産	(1)建物	313,715,325
		(2)構築物	5,762,482
		(3)教育研究用機器備品	29,366,847
		(4)管理用機器備品	24,598,619
		(5)図書	1,382,585
		(6)車両	486,025
		計	375,311,883
	基本財産	(1)現金預金	387,264,101
		(2)未収入金	8,983,717
		(3)貯蔵品	5,016
		(4)前払金	2,426,406
		(5)立替金	208,930
		(6)仮払金	393,583
		(7)預託金	38,410
		(8)長期前払金	461,835
		計	399,781,998
	資 産 総 額		775,093,881
負 債	負 固 債 定	(1)長期未払金	4,107,180
		(2)退職給与引当金	3,991,580
		計	8,098,760
	流 動 負 債	(1)未払金	22,189,156
		(2)前受金	41,241,871
		(3)預り金	25,813,964
		(4)賞与引当金	11,516,010
		計	100,761,001
	負 債 総 額		108,859,761
	正 味 財 産		666,234,120

5)監査報告書

監査報告書

令和 8 年 6 月 1 日

学校法人 愛自学園
理事長 岡 豊 様

学校法人 愛自学園

監事 菅 泰晴 
監事 友石 晃由 

私は、学校法人 愛自学園の令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の会計年度における監査を行い、次の通り報告する。

1、監査の方法の概要

業務または財産の状況の監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算と書類の正確性を検討した。

2、監査意見

業務または財産の状況の監査の結果、この法人の業務または財産に関して不正行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実はない。

以上

以上